

1 概要

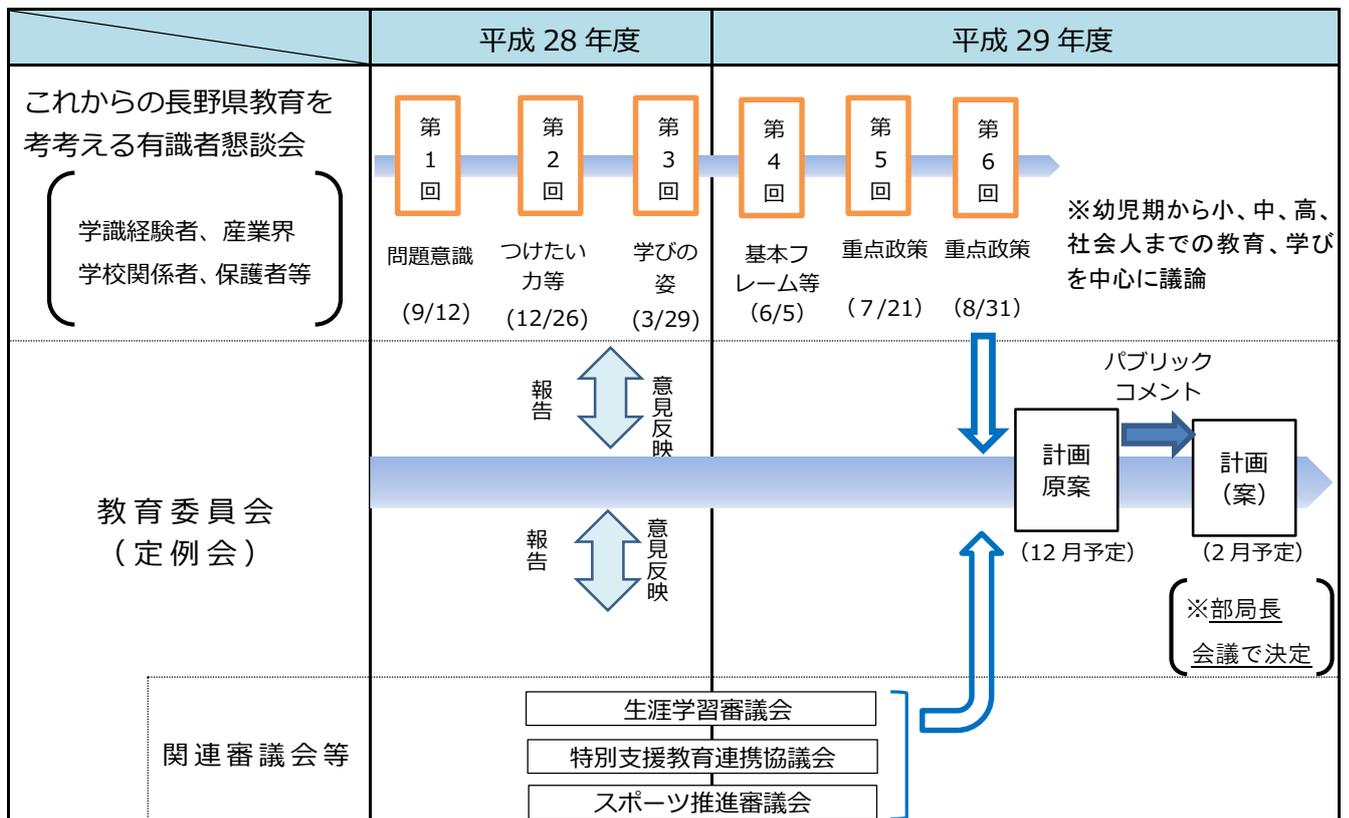
平成28年9月、外部の有識者による「これからの長野県教育を考える有識者懇談会」（以下、「懇談会」という。）を設置し、第3次長野県教育振興基本計画策定のために幅広い観点からご意見を伺い、今後の信州教育が目指す姿、その実現のための重点的に取り組む政策について検討を重ねてきた。

平成29年8月31日、第6回懇談会において、懇談会における検討を終了し、今後は、教育委員会、総合教育会議においてさらなる検討を行っていく。

2 懇談会の経過

開催日		内容
第1回	平成28年9月12日	・これからの長野県教育を考える上での重要な視点（問題意識）
第2回	12月26日	・「子どもたちにどういった力をつけてほしいか。そうした力をつけるために必要な視点」 ・「子どもたちの学びを支える大人、例えば、学校の先生や地域の大人たちはどうあるべきか」
第3回	平成29年3月29日	・学ぶ側の観点からの新たな学びの姿
第4回	6月5日	・基本フレーム、基本コンセプトについて
第5回	7月21日	・重点政策について
第6回	8月31日	・重点政策について

3 計画策定の進め方



第1編 計画策定の基本的な考え方

- 1 策定の趣旨 教育を取り巻く環境変化や新たな課題が明らかになる中で、改めて本県の教育政策の方向性を示すため第3次計画を策定する。
- 2 計画の性格
 - ・長野県の教育の振興のための施策に関する基本的な計画
 - ・長野県総合5か年計画（仮称）に対応する教育分野の計画
- 3 計画の対象範囲 教育委員会が所管する教育に関する施策・事業：公立学校教育、生涯学習、社会教育、スポーツ知事の権限に属する教育に関する施設・事業：高等教育、私立学校、文化・芸術教育と他の行政分野との境界領域で教育委員会と知事事務局が相互に連携して進める施策・事業：子ども・若者支援 等
- 4 計画の期間 2018年～2022年の5か年

第2編 本県の教育をめぐる情勢

1 時代の潮流と教育の課題

- (1) 世界との結びつきの緊密化
 - ⇒ヒト、モノ、カネ、情報の国境を越えた流通
 - ⇒個人や地域が世界と直接接続
- (2) 技術革新の急速な進展
 - ⇒AIやIoTなどの技術革新が急速に進展
 - ⇒知性や感性等人間固有の能力の重要性が増加
- (3) 急激な人口減少と東京圏への人口流出
 - ⇒児童生徒の減少による学校規模の縮小
 - ⇒地域活力の低下
- (4) 生活意識の変容
 - ⇒価値観が多様化し、個人としての能力発揮や心の豊かさに重きを置くライフスタイルへ
- (5) 貧困・格差の拡大
 - ⇒貧困率の拡大と、貧困の連鎖への懸念
- (6) 人生100年時代へ
 - ⇒暮らし・学び・働きなどにおける、人生設計と社会システムの変革
 - ⇒高齢者が経験や知識を活かして参画することへの期待

2 長野県教育のポテンシャル

教育振興の資源として活用できる特色、優れた点

- (1) 教育を大切にす風土と県民性
- (2) 活発な体験学習
- (3) 伝統を受け継ぐ地域
- (4) 豊かな自然環境

第3編 長野県の教育のこれまでの取組

- 1 第2次教育振興基本計画の検証
- 2 今後の取組の方向性

第4編 長期的な教育振興の方向性

基本理念

(仮) 感性溢れる叡智で未来を拓く
「学びの県」
～本物から学び、学び合い、
学び続ける信州人～

「学びの県」4つのコンセプト

信州ならではの学びで、感性溢れる叡智をもった信州人が育ち、活躍する長野県

自ら問いを立て、考え、行動することが好きで、頑張り抜く信州の子どもたち

すべての子どもたちが、良質で多様な学びの機会を得られるよう、社会全体で責任を果たす長野県

生涯、学び合い、学び続け、自らの人生と自分たちの社会を切り拓く信州人

第5編 基本計画（今後5年間の施策）

重点政策

(1) 信州に根ざし世界に通じる人材の育成
・学び続ける信州人の基盤となる幼児教育の充実・強化
・信州発スクールイノベーションの推進
・信州創生を推進する学びの改革

(2) 全ての子どもたちが良質で多様な学びを享受
・「多様性を包みこむ学校」への進化！
・学びのセーフティネットの構築

(3) 「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり
・多様な世代の自治力・協働力を磨く学びの基盤の再構築
・未来の信州を担う世代の自治力・協働力の根幹を形作る「学び」の仕組みの推進

(4) 豊かな暮らしと地域に活力を与えるスポーツの振興
・国体・全スポ開催理念の実現に向けた取組
・子どもの運動・スポーツ機会の充実

基本施策

未来を切り拓く学力の育成

信州を支える人材の育成

豊かな心と健やかな身体の育成

安全・安心・信頼の学校づくり

すべての子どもの学びを保障する支援

学びの成果が生きる生涯学習の振興

文化とスポーツの振興

施策の具体的方向性の柱

① 確かな学力を伸ばす教育の充実

【構成】（方向性の柱ごとに記載）

- ◎成果目標(測定指標含む)
- ◎具体的施策 ※内容検討中

② 高校教育の充実

③ キャリア教育の充実

④ 長野県・地域を学ぶ体験学習

⑤ 世界につながる力の育成

⑥ 高等教育の充実

⑦ 豊かな心を育む教育

⑧ 健康づくり・体力の向上

⑨ 幼児教育の充実

⑩ 地域と共にある学校づくり

⑪ 教員の資質能力向上

⑫ 安全・安心の確保

⑬ 教育環境の維持改善

⑭ いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援

⑮ 特別支援教育の充実

⑯ 多様なニーズのある子ども・若者への自立支援

⑰ 私学教育の振興

⑱ 学びが循環する社会の創造

⑲ 子どもの未来づくり

⑳ 文化芸術の振興

㉑ 文化財の保護・継承・活用

㉒ スポーツの振興

第6編 計画の実現に向けた基本姿勢

1 効果的・効率的な行政経営の推進

- ・「長野県行政経営方針」に沿った行政サービスの質の向上

2 教育に関わる多様な主体の役割分担と協働、連携

- ・教育関係情報の積極的な提供
- ・市町村との十分な連携協力
- ・現場の主体性、創意工夫を促進

3 適切な評価・点検による実効性の確保

- ・有識者による評価を活用した実効性のある評価・点検の推進